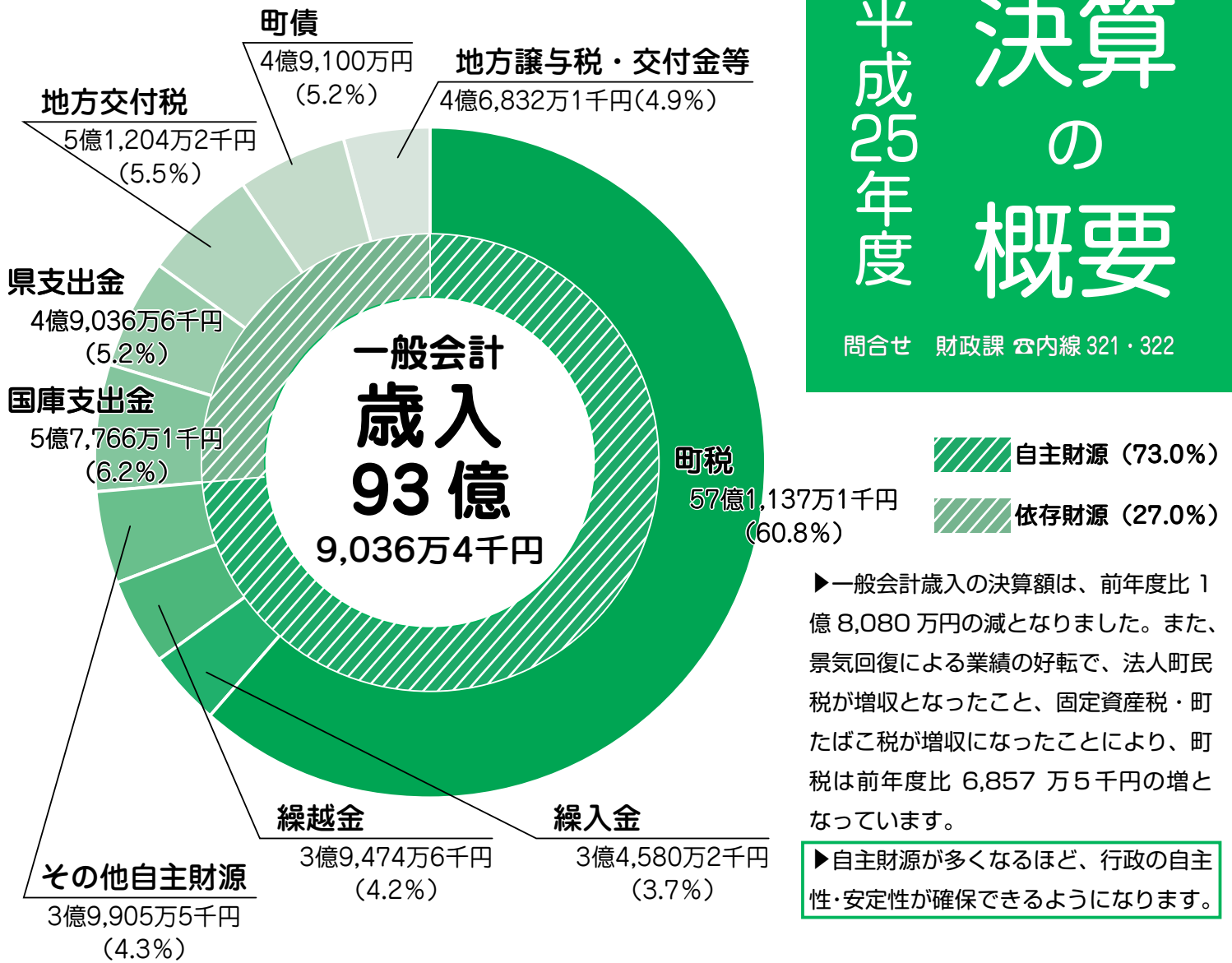


# 平成25年度 決算の概要

問合せ 財政課 ☎内線 321・322



▶一般会計歳入の決算額は、前年度比1億8,080万円の減となりました。また、景気回復による業績の好転で、法人町民税が増収となったこと、固定資産税・町たばこ税が増収になったことにより、町税は前年度比6,857万5千円の増となっています。

▶自主財源が多くなるほど、行政の自主性・安定性が確保できるようになります。

	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	41億3,016万2千円	38億9,139万8千円	2億3,876万4千円
後期高齢者医療	8億970万6千円	7億2,984万2千円	7,986万4千円
介護保険	24億8,619万円	24億3,139万9千円	5,479万1千円
下水道事業	11億5,781万9千円	11億1,257万8千円	4,524万1千円

## 特別会計

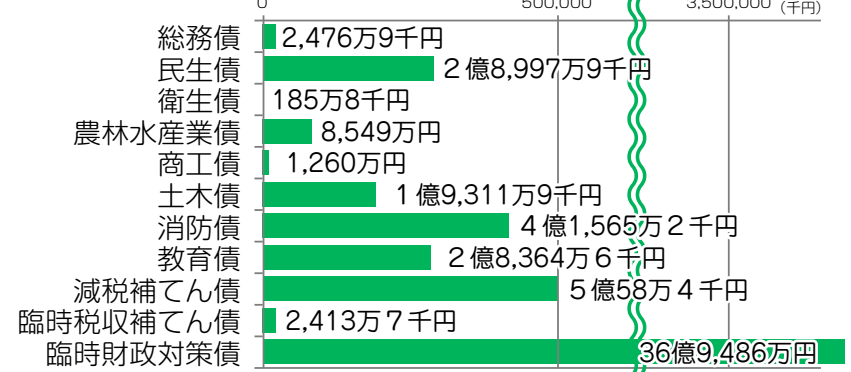
▶特別会計の歳入合計は、85億8,387万7千円、歳出合計は81億6,521万7千円で、差引額は4億1,866万円となりました。

## 町債の状況

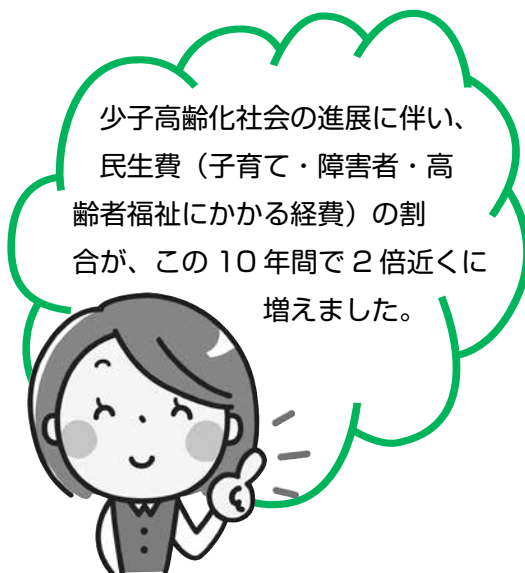
▶町債とは、町が大きな建設事業などを行うために、国や銀行などから長期にわたって借りるお金のことです。

▶下水道事業特別会計を含めた町全体の会計で見ると、元金償還額の範囲内で町債を発行している状況にあり、プライマリーバランスが保たれています。

【一般会計 町債残高】



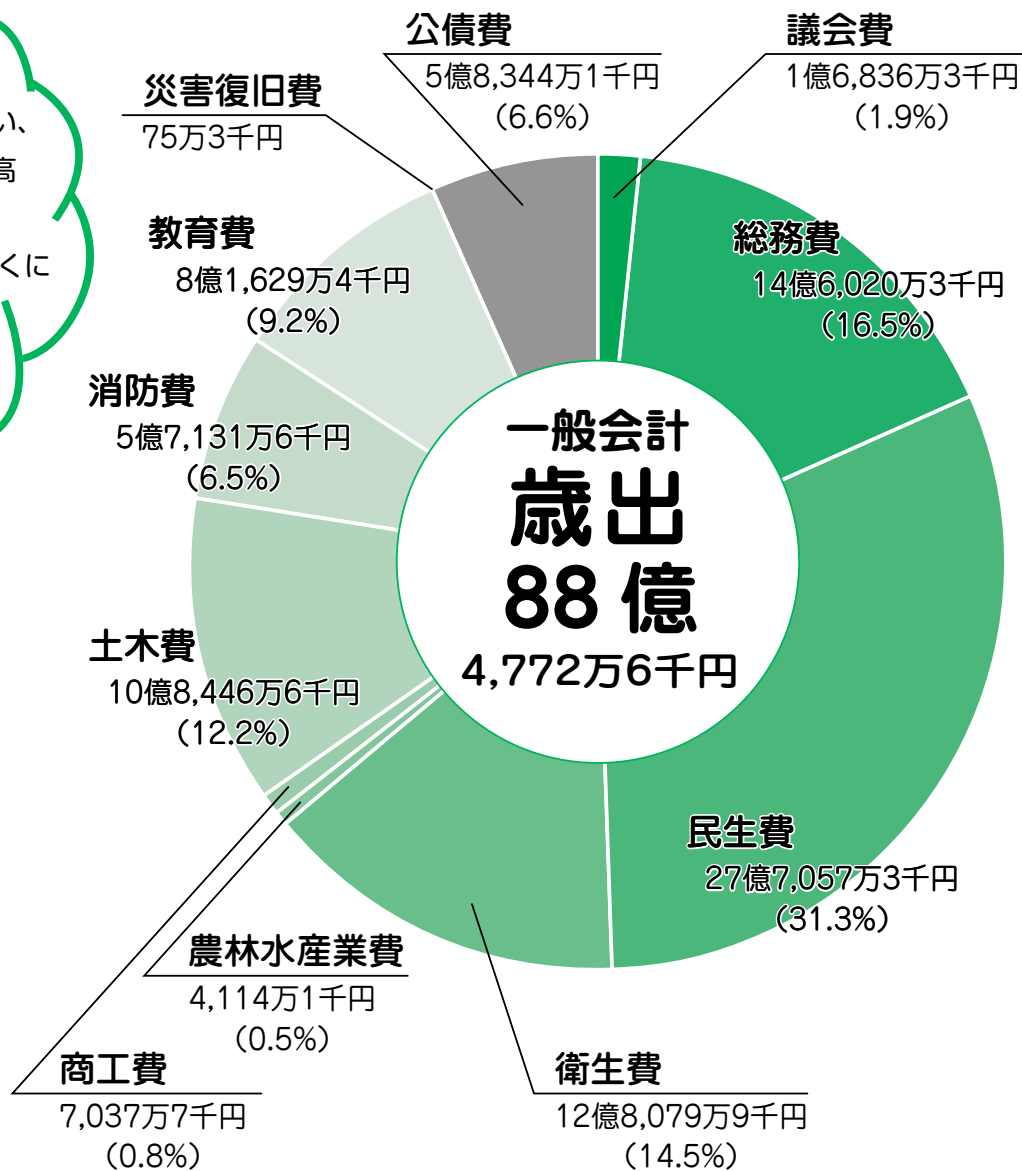
【下水道事業特別会計 町債残高】85億2,664万8千円



少子高齢化社会の進展に伴い、民生費（子育て・障害者・高齢者福祉にかかる経費）の割合が、この10年間で2倍近くに増えました。

▶一般会計歳出の決算額は、前年度比3億2,869万2千円の減となりました。

▶人件費が給料の定率削減により前年度比1億2,903万3千円の減となっています。また、財政調整基金への積み立てが減となったことにより、積立金が前年度比1億5,807万3千円の減となりました。詳しい歳出の性質別の状況は、町HPから見るすることができます。



健全化判断比率	葉山町	早期健全化基準	昨年度との増減
<b>実質赤字比率</b>	—	14.14	—
財政規模に対する一般会計などが出した赤字額の割合	赤字になっていない		
<b>連結実質赤字比率</b>	—	19.14	—
財政規模に対する特別会計を含めた町の全会計が出した赤字額の割合	赤字になっていない		
<b>実質公債費比率</b>	0.4	25.0	△0.4
財政規模に対する借入金（地方債）の返済額（公債費）の割合			
<b>将来負担比率</b>	—	350.0	—
財政規模に対する将来支出する財政負担の割合	算定されない		

<b>財政規模</b> (標準的な状態で見込まれる一般財源)	6,727,745 千円	
-----------------------------------	--------------	--

資金不足比率	葉山町	経営健全化基準
<b>下水道事業特別会計</b>	—	20.0%
下水道事業特別会計の事業規模に対する資金不足額の割合	資金不足になっていない	

<b>事業規模</b> (使用料収入)	232,339 千円	
------------------------	------------	--

## 健全化判断比率

▶地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、五つの指標を公表します。葉山町の平成25年度決算に基づく各指標の算定結果は、いずれも基準を下回っています。

▶早期健全化基準が一つでも基準以上となった場合は、財政健全化計画を議会の議決を経て策定、公表するとともに県知事に報告します。



平成25年度の葉山町の決算についての詳細は、町HPの「葉山の町政」というページからも確認することができます！

